

令和2年度

社会福祉法人 長浜市社会福祉協議会 事業報告及び附属明細書

新型コロナウイルス感染症拡大により社会・経済に甚大な影響を与え、いまだに終息の兆しが見えない状況となっています。一方で地域社会は少子高齢化・人口減少が進展し家族・地域形態が変容するとともに、雇用形態の多様化、近隣関係の希薄化などを背景として、様々な面から支援を必要とする高齢者、しょうがい者、生活困窮者等が増加しています。また、子どもの貧困や社会的孤立といった新たな福祉課題・生活課題がより一層顕在化するなど、福祉に対するニーズは多様化し増大しています。

このような社会情勢の中、長浜市社会福祉協議会では「地域の絆で ともに育み支えあい 安心して暮らせるまち 長浜」を基本理念として、地域住民や地域の多様な主体が参画し、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく地域共生社会の実現に向けて取り組みを進めました。

地域福祉の推進については、コロナ禍で地域交流活動の減少や関係性の希薄化などが進む中で、地域の福祉活動の基盤組織である地区社協・福祉の会や民生委員・児童委員、ボランティア等と連携しコロナに負けない地域福祉活動の推進に努めるとともに、従来から進めてきた市行政との協働による、生活支援体制整備事業、地域共生社会推進事業、成年後見権利擁護センター、しょうがい児者基幹相談調整センター事業等の取り組みについても、その機能充実と活動の推進に努めました。

また、新型コロナウイルスの影響を受け、失業や収入の減少などにより経済的な困窮を抱える世帯に対する生活相談・生活福祉資金の貸付業務（前年比約90倍）を県社会福祉協議会と連携し実施しました。

在宅介護サービス等については、厳しい経営状況の中、さらに新型コロナウイルスへの対応も必要となり事業運営の見直しが迫られました。市民の信頼に応えつつ、職員と利用者の健康と安全を確保し、必要な福祉サービスの提供を持続するため、感染予防を徹底しサービス提供のあり方の模索に努めました。

施設介護事業では、新型コロナウイルス感染症の予防を徹底し、入所者様の生活の安定を図り、その方が望む生活を営むための適切で質の高いサービスを提供できるよう事業を実施しました。また、コロナ禍でもご家族と関りを持ち続けられるよう、テレビ電話機能を使用した面会の実施や面談室の新設等を行いました。

公益事業に関しては、市からの委託により3か所の地域包括支援センターを運営し、高齢者課題及び介護の身近な総合相談専門窓口としてその機能充実に努めました。

また、本会が持つ介護技術を活かし、一般及び外国人向け介護職員初任者研修を実施し、受講者が市内の介護事業所へ就労されるなど、本市の人材育成に貢献しました。

1. 地域福祉の推進

令和2度は、第2期地域福祉活動計画推進期間2年目として『地域の絆で ともに育み支えあい 安心して暮らせるまち 長浜』を基本理念に7つの基本方針を掲げ、更なる地域福祉活動の展開に向けた取り組みを進めました。特に生活圏域の住民福祉活動を推進する地区社協・福祉の会が中心となり、暮らしの支えあい検討会等を開催し、地域福祉課題の把握と情報の共有、その課題の解決に向けた具体的な取り組みの検討及び活動の実践を展開しました。

新たに多機関の協働による、包括的相談支援体制の構築に向けた取り組みについては、支援体制構築に関わる法整備に対応した事業展開を進め、制度の狭間や複合的な課題を抱える世帯を受け止めるため、ネットワークや仕組みといった体制づくりを推進しました。

また、新型コロナウイルスにより、様々な生活課題に直面した方々に対し、福祉活動者やボランティア等の協力のもと、課題の一つ一つに対し解決に向けたアプローチを実施したほか、相談支援機関としての専門性を発揮した支援に取り組みました。

しょうがい福祉分野の推進については、しょうがい者の地域移行を進める地域生活支援拠点について、しょうがい者が地域で暮らすための支援体制づくり、家族支援に様々な団体や関係機関と協働し取り組むことで整備推進に努めしょうがいのある方が住みたいところで、自身が希望する生活ができる地域づくり目指しています。

(1) 地域福祉活動支援

【地域福祉活動計画の推進】

地域福祉活動計画の進捗管理を行うため、地域住民、福祉関係機関、行政等との連携により長浜市地域福祉活動計画推進委員会を設置し、地域福祉活動計画に基づく地域福祉事業の推進を図りました。また、地域住民や関係団体、社協、介護事業所、行政等が連携・協働し、各地区の地域福祉推進に向けた支援と取り組みの方向性を話し合う場として福祉懇談会（地域ケア会議）を開催し、市内全地区において地域実情に応じた地域福祉を推進するための第2期地区別地域福祉活動計画の策定に向けた取り組みを進めました。

○地区別地域福祉活動計画の推進支援 15地区

○長浜市地域福祉活動計画推進委員会の開催

■長浜市地域福祉活動計画推進委員会

開催日	内 容
R2.11.20 (金)	第15回地域福祉活動計画推進委員会

■長浜市地域福祉活動計画推進アドバイザーとの協議

開催日	内 容
R2.7.9 (木)	第2期長浜市地域福祉活動計画の進捗管理について
R2.10.8 (木)	第15回長浜市地域福祉活動計画推進委員会について
R3.1.13 (水)	長浜市地域福祉計画検討委員会について
R3.2.15 (月)	第2期長浜市地域福祉活動計画の次年度について

【地区社協支援事業】

地域の実情に応じた福祉活動を推進する基幹的福祉団体である地区社協との連携のもと各地域の福祉活動・交流活動を進めることを目的として地区社協への支援を実施しました。

○支援地区社協数 15地区

○地区社協活動推進事業補助金 15地区 定額200,000円 会費納入世帯×150円

○地区社協事務局運営補助金 6地区 定額 100,000 円 会費納入世帯× 50円
 ○代表者会議・研修会の実施

開催日	内 容
R2.6.11 (木) (旧伊香地区)	各地区社協の取組み紹介、意見・情報交換 暮らしの支えあい検討会について
R2.6.11 (木) (旧東浅井地区)	各地区社協の取組み紹介、意見・情報交換 暮らしの支えあい検討会について
R2.6.12 (金) (旧長浜地区)	各地区社協の取組み紹介、意見・情報交換 暮らしの支えあい検討会について

【福祉委員支援事業】

地域における福祉課題への解決に向けた取り組みや地域交流を深めることを目的に設置された福祉委員を支援し、地域実情に応じたきめ細やかな小地域福祉活動がそれぞれの地域で実践されることを目的として支援を行いました。

また、福祉委員シンポジウムを開催し、地域の福祉課題解決に向けた取り組みや見守り活動、地域交流の推進を目指し、地域の福祉活動の担い手の育成に努めました。

○福祉委員シンポジウム

- 開催日：令和2年11月29日(日)
- 参加者数：103名
- 基調講演：「普段のつながりがいざという時に力を発揮する」
- 講師：びわこ学院大学教育福祉学部長 烏野 猛さん

○地区別福祉委員研修会の開催・支援

- 開催回数：6回(長浜地区、南郷里地区、神照地区、びわ地区、湖北地区)
- 参加者数：236名

○福祉委員活動や支援に関わる出前講座

- 開催回数：2回(2自治会)
- 参加者数：54名

【地域見守り活動推進事業(避難支援・見守り支えあい事業)】

日ごろの支えあいの積み重ねによる、いざという時の迅速な対応や、安心して暮らせる地域づくりを目指し、地域の支えあいを基本とした見守りや声かけをはじめとするふれあい活動に加え、自治会等の災害時要援護者支援対策「地域支え合いづくり促進事業」と連携を図った、防災・減災活動、避難支援体制整備(防災福祉マップ作製など)を推進しました。

○相談支援、取り組み支援自治会数

- 1地区(神田地区)
- 18自治会(小足新町自治会、大浜自治会、八木浜自治会、唐国自治会、四ツ塚自治会、青名自治会、山本自治会、東物部自治会、千田自治会、田部自治会、集福寺自治会、山門自治会、三川自治会、細江自治会、布施自治会、小一条自治会、本庄新町自治会、本庄自治会)

○啓発活動・研修会等の開催

- 実施回数：13回(自治会11)
- 参加者数：130名

○見守り活動啓発資材の配布

- 啓発資材配布自治会・地区：12自治会 3地区社協

■配布啓発資材数

◆命のバトン（マグネットケース付き）：206 個

◆見守り活動用タスキ：5 本

【ふれあい電話事業】

登録されたひとり暮らし高齢者等の方々に対し、ボランティアの協力のもと電話による友愛活動を実施しました。民生委員・児童委員や各福祉関係機関との連携のもと安否確認・生活相談を行うことで、社会的孤立感の解消や日常生活上の課題解決に向けた取り組みを行いました。

また、協力ボランティアを対象とした研修会と交流会を開催し、相談の質の向上に努めるとともに、ボランティア同士のつながりづくりを進めました。

○実施内容 安否確認や福祉ニーズの把握（悩み、不安、健康状態、福祉サービス等）
のための電話による友愛活動

○実施日時 毎週水・木曜日 午前10時～午前11時50分 計81日間

○通話者 ボランティア団体、民生委員・児童委員協議会 計16団体

○対話者 81名（R3.3.31現在）

○通話件数 延べ1,781件

○個別対応 利用者からの相談に対し、専門相談または関係機関等への連絡
延べ18件

○研修会

■開催日：令和2年10月16日（金）

◆講演：「こころの声を大切にする出会い」

◆講師：心理カウンセリング blanket 代表 足立 信子さん

◆参加者：18名

■開催日：令和2年12月2日（水）

◆内容：「ふれあい電話利用者への年賀状作り」～スタンプを使った簡単年賀状作り～

◆講師：重信瞳さん（絵手紙講師）

◆参加者：15名

【小地域サロン支援事業】

地域のボランティアが主体となり、高齢者やしょうがい者など地域での交流機会が希薄になりがちな要援護者等を中心として、地域住民がともにふれあえるサロン活動の支援を行いました。サロン活動の充実を目的に、サロンで使えるレクリエーション講座を開催しました。また、サロン支援員を配置し、運営ノウハウ、レクリエーションの提供などの活動支援に取り組みました。

○助成団体数：208 団体（実施期間 1 年～3 年：30,000 円 3 年以降：10,000 円）

○新規取り組み団体数：6 団体

○サロン交流・研修会の開催

（第 1 回）

開催日	開催場所	主な内容等	参加者数
R2.7.29(水)	長浜伊香ツインアリーナ	ボッチャ体験講座	20 名
R2.7.29(水)	長浜伊香ツインアリーナ		12 名
R2.7.31(金)	湖北福祉ステーション		16 名
R2.8.3(月)	湖北福祉ステーション		20 名
R2.8.4(火)	神照まちづくりセンター		29 名
R2.8.7(金)	南郷里まちづくりセンター		29 名

（第 2 回）

開催日	開催場所	主な内容等	申込者数
R3.3.3(水)	木之本まちづくりセンター	レクリエーションのヒント講座	33 名
R3.3.3(水)	高月まちづくりセンター		19 名
R3.3.4(木)	湖北福祉ステーション		46 名
R3.3.4(木)	神照まちづくりセンター		28 名
R3.3.5(金)	長浜まちづくりセンター		27 名
R3.3.5(金)	南郷里まちづくりセンター		22 名

○小地域サロン交流会：16 地区 延べ参加者 381 名

○レクリエーション支援（一時支援）：88 団体

○サロン立ち上げ支援（継続支援）：5 団体

○サロン情報紙の発行：年 9 回

【広報・啓発活動】

地域の福祉活動や本会の取り組み、福祉関係の情報を提供する広報紙、ボランティア活動者・サロン運営者向けの情報紙を発行することで、福祉に対する意識向上、地域福祉活動への参加促進、そして活動者、当事者の交流のきっかけづくりを行いました。また、併せて本会活動に対する理解の向上に努めました。

ホームページ、Facebook ページを運営し、手軽に情報を受け取っていただけるよう記事の更新に努めました。

○広報紙の発行

■社協ながはま

◆発行回数：年 4 回（5 月・8 月・11 月・2 月号）

◆発行部数：42,000 部/回

■ボランティア情報誌「えくすてんど」

◆発行回数：年 12 回

◆配布方法：各まちづくりセンター配布

◆発行部数：約310部/回 ※5月・8月・11月・2月号は社協ながはまに掲載

■ボランティアセンターだより「ランティちゃん はーい」

◆発行回数：年3回（4月・2月・3月号）

◆発行部数：約400部/回

■サロン情報紙

◆発行回数：年9回

◆発行部数：約300部/回

○ホームページの運営（アドレス<http://www.nagahama-shakyo.or.jp/>）

○Facebook ページの運営（アドレス<https://www.facebook.com/nagashakyou/>）

○広報紙「社協ながはま」広告企業の募集

【福祉活動団体助成事業】

市内で活動する福祉団体に対して活動費の助成を行い、福祉団体の育成・活動の促進に努めました。

○助成団体数：10団体

○支援事業数：14事業

■長浜市民生委員・児童委員協議会

長浜市民児協運営事業

■長浜市手をつなぐ育成会

知的しょうがい児者交流事業（3事業）

■長浜市老人クラブ連合会

地域友愛事業、グラウンドゴルフスポーツ大会

■長浜市母子福祉のぞみ会

コロナ禍における母子家庭への食料支援

■滋賀県私立保育園連盟湖北ブロック

滋賀県私立保育園絵画展（湖北ブロック）

■長浜市視覚障害者協会

料理教室、ブドウ狩り体験

■長浜地区更生保護女性会

第4ブロック研究協議会

■長浜市特別支援教育研究部会

長浜市小中学校特別支援学級合同学習発表会

■長浜市子ども会連合会

子ども会指導者講習会

■フードバンクながはま

フードバンク

【歳末たすけあい運動】

共同募金運動の一環として地域住民や民生委員・児童委員、福祉関係機関、団体等の協力のもと新たな年を迎える時期に、誰もが地域で安心して暮らし、地域のたすけあいや支えあいの活動を広げることが目的として取り組みを推進しました。

事業名	支援対象者・団体数・参加者数など
緊急食料給付事業	生活困窮者向け食料品の購入及び給付
特別支援学級等学用品助成事業	特別支援学級生徒等 270名
要保護世帯図書カード支援事業	要保護世帯児童生徒 41名
一人暮らし高齢者等歳末掃除支援事業	80歳以上の一人暮らし高齢者世帯等 198件
歳末おせち料理配食事業	80歳以上の一人暮らし高齢者世帯等 1,027件
歳末行事支援事業	市内の福祉施設・福祉団体 18団体
福祉対象者交流会(サンタクロース慰問事業)	長浜市内小児病棟入院患者 32名

【しょうがい者等交流事業】

○しょうがい児者保護者交流事業（ほのぼのかけはし）

長浜養護学校及び市内小中学校特別支援学級、療育支援センターに通学等するしょうがい児・生徒の保護者等を対象に、しょうがいについての理解を深め、気軽に相談し交流できる仲間（ネットワーク）づくりを目的に研修会「ほのぼのかけはし～みんなひとりじゃないんだよ～」を開催しました。

開催日	内容	講師	参加者数
R2.7.17(金)	情報交換会 「かけはしカフェ～気軽にお話しませんか？」	◇佐藤明子さん （元特別支援学校教諭） ◇中野弘美さん （当事者保護者）	5名
R2.9.24(木)	講演会 「自閉症の息子とともに～パペットセラピー～」 「こころ文字」アート作品の展示	◇田口京子さん （当事者保護者） ◇佐藤明子さん ◇中野弘美さん	14名
R2.10.15(木)	講演会 「備えあれば憂いなし～しょうが いと防災～」	◇ボウフィヤクタ-所長 ◇佐藤明子さん ◇中野弘美さん	11名
R2.11.18(水)	「菊池さかえさんの震災体験～私 のあの日～」	◇菊池さかえさん ◇佐藤明子さん ◇中野弘美さん	8名
R2.12.9(水)	勉強会 「コトグレとは～ケーキの切れない 非行少年たち～」	◇佐藤明子さん ◇中野弘美さん	8名

※開催場所：高月福祉ステーション

○一般就労者交流支援事業（元気クラブ）

一般就労する知的しょうがい者の余暇活動支援および仲間づくりを目的とした交流事業を湖北地域しょうがい者相談センター「はたらき・暮らし応援センターこほく」との共催で開催しました。

開催内容および参加者数等	開催回数	延べ参加者数
事務（企画）会議	5回	87名
スポーツ体験（ボーリング）	1回	23名

※共催 湖北地域しょうがい者相談センター

※外出・社会見学は新型コロナウイルス感染予防のため中止

【子育て支援事業】（おもちゃ図書館）

未就園の幼児と保護者を対象に、様々なおもちゃでの遊びや簡単な工作をとおして、子どもの豊かな発想と発育を支援するとともに親子のふれあいや保護者同士、地域のボランティアとの交流を促進し、子育て環境の充実を目的に実施しました。

虎姫会場では虎姫福祉の会「は～とらんど」と協働で事業展開し、木之本会場では地域ボランティアや活動グループ協力のもと、地域ぐるみの子育て支援を推進しました。長浜市子育て支援センターとの共催企画も実施し（各会場2回）、内容の充実と幅広い周知活動に努めました。

○虎姫会場 毎月第2・3水曜日 10:00～11:30

○木之本会場 毎週火曜日 10:00～11:30

開催場所	開催回数	延べ参加者数	延べボランティア活動者数
虎姫会場	20回	299名	4名
木之本会場	41回	276名	33名

※4月、5月はコロナウイルス感染予防のため中止

【子育て支援事業】(冒険遊び場づくり活動支援)

子どもの外遊びをとおした居場所づくりを目的とした「冒険遊び場」を開催しました。また、冒険遊び場の活動に関心のある団体・個人への相談・開設支援を行いました。

○冒険遊び場の実施 毎月第3土曜日 10:00~15:00

■開催場所：浅井ふくらの森

■開催回数：9回 ※4月、5月はコロナウイルス感染予防のため中止、雨天中止1回

■延べ参加者数：70組 164名

○開催相談・支援団体：1団体

○用具貸出：1件

【在宅介護者のつどい事業】

在宅で介護する方を対象に、日ごろの悩み相談や情報交換ができる仲間づくりの交流会、介護の技術や知識の学習会、介護者が日常的に抱える不安やストレス緩和のリフレッシュの機会などを設け、制度の円滑な利用や介護者の孤立防止を図り、在宅介護の充実に努めました。

開催日	開催場所等	内容	参加者数
R2.4~R2.7	新型コロナウイルス感染予防のため中止		—
R2.8.26(水)	湖北福祉ステーション	お祭り気分で♪豪州音頭&ビンゴゲーム	9名
R2.9.23(水)	湖北福祉ステーション	気軽に挑戦！ペンアート	13名
R2.10.27(水)	湖北福祉ステーション	笑い広がる！幸せ広がる！介護者のためのリフレッシュ講座	11名
R2.11.25(水)	長浜まちづくりセンター	多肉植物寄せ植え教室	17名
R2.12.15(火)	湖北福祉ステーション	ハンドベル演奏会	9名
R3.1.19(火)	湖北福祉ステーション	簡単！パステル画	10名
R3.2.25(木)	湖北福祉ステーション	冬を元気に乗り切る！ハーブのお話&アロマスプレー作り	16名
R3.3.25(木)	長浜まちづくりセンター	怒りの感情と上手に付き合おう！アンガーマネジメント講座	16名

【ふれあい備品助成事業】

自治会に対して、地域福祉活動や交流事業等に必要な備品の整備を支援することで、地域活動・住民活動の活性化、住民相互の交流促進に努めました。

○助成内容 福祉活動・世代間交流に必要な備品購入助成

※1自治会 50,000円以内 購入費総額の2/3以内

○助成団体数 20 自治会

(ポンプ、掃除機、刈払機、エアコン、ノートパソコン、カラーレーザー複合機、液晶テレビ、プロジェクター、ガステーブルコンロ、湯沸器、レクリエーション器具、机、椅子、音響設備等の購入助成)

【ふれあい用具貸出事業】

自治会等地域福祉活動を推進する団体等が行う地域行事に対して、必要な用具を貸出し、地域交流の増進に努めました。

○ふれあい用具貸出実績

用具名	貸出件数	用具名	貸出件数
ポップコーン機	9 件	綿菓子機	3 件
鉄板	0 件	かき氷機	13 件
たこ焼き機	0 件	串焼き機	0 件
網焼き機	0 件	クレープ焼き機	0 件
サンタクロース衣装	7 件	着ぐるみ	5 件
プロジェクター	45 件	スクリーン	33 件
テント	4 件	布絵本	0 件
車いす (学習用等)	372 件	カラオケセット	0 件
ビンゴゲーム機	14 件	その他	39 件
マイク・アンプ	87 件	輪投げ	27 件
コミュニケーション麻雀	4 件	レクリエーション用各種ゲーム	176 件
		合 計	831 件

【福祉用具・介護用車両貸出事業】

在宅の高齢者やしょうがい者へ車いすを貸出し、在宅での生活を支援しました。

また、外出支援として在宅で生活する高齢者や、しょうがい者の社会参加の促進と家族の絆を深めるため、介護車両の貸出しを行いました。

○福祉用具 (車いす) の貸出回数 176 回

○車いす移送用車両の貸出回数 361 回

【第 10 回社会福祉大会 (社会福祉功労者表彰式)】

社会福祉の推進・向上に多大な貢献をされた個人ならびに団体を表彰し、その功績を称えるとともに、多額の浄財を寄付していただいた個人・団体に対して感謝状を贈り、社会福祉の啓発を図りました。

また、地域福祉に対する理解と関心を高めるため、講演ライブを開催するとともに、福祉標語・福祉ポスターの表彰および発表、ボランティア活動の発表、各種福祉関係の展示等については、コロナウイルス感染防止の観点より中止しました。

○社会福祉功績者表彰式

■会長表彰 【個人】：23名 【団体】：2 団体

■感謝状 (善意銀行の部) 【個人】：5名 【団体】：14 団体

【ワークキャンプ支援事業】

中山間地域の地域課題緩和を目的として、若年層ボランティア (大学生)、一般ボランティアによる地域活動の参加を企画し、地域課題に対する認識と地域住民と参加者との交流を深めました。

また、余呉の歴史や文化、暮らしなどを実際に見て、聞いて、知ることで中山間地域の魅力や少子高齢化などによる地域の暮らしの困りごとについて学ぶための体験学習を開催しました。

実施期間	実施地区	支援内容	延べ参加者数
R2.9	余呉地区 菅並・摺墨・中河内自治会	新型コロナウイルス感染予防のため中止	—
R2.9	交流会	新型コロナウイルス感染予防のため中止	—
R3.2.11~2.13	余呉地区 菅並・摺墨・中河内自治会	除雪作業	72名
R3.2	交流会	新型コロナウイルス感染予防のため中止	—

【福祉出前講座】

市民団体、地域団体等が開催する研修会等に職員を派遣することで市民との協働による地域福祉活動の推進を図りました。

○福祉出前講座の開催（職員の派遣）

派遣件数：126件（地域福祉課118件、介護事業課8件）

受講者数：747名

内容	件数	内容	件数
防災ゲーム「HUG～避難所運営ゲーム～」	2件	災害ボランティアセンター	7件
見守り活動のススメ	6件	サロンレクリエーション	88件
災害時体験「いざメシ作り」	1件	レクリエーションで日常の楽しみを	2件
高齢者疑似体験	8件	介護予防講座～健康は足もとから～	5件
回想法講座	1件	介護予防講座～脳活のすすめ	1件
リクエスト講座	5件	合計	126件

【日常生活支えあい促進事業】

高齢化の進行、核家族化やライフスタイルの多様化、中山間地域の人口減少など、地域に住む高齢者やしょうがい者、子育て世代など、日常生活を送るうえで様々な生活課題や日常生活の不便さを感じる方に対し、地域住民が主体的に地域の生活課題の解決に向けて取り組むこと目指して、地域支援組織（生活支援ボランティア組織等）の設立・活動支援を行いました。また、新規活動者養成のため、生活支援サポーター養成講座を開催し、生活支援の視点で地域を見つめ直し活動へつなげる機会としました。

○住民参加型の生活支援ボランティア組織等活動支援

■支援団体：かんだサポート会（神田地区）

元気かい（余呉地区）

西黒田きんたろうサポート会（西黒田地区）

スマイルサポート西浅井（西浅井地区）

下草野地区地域づくり協議会（浅井地区）

■支援内容：活動従事者研修会の開催、活動費の助成、活動用具の貸与、送迎用車両の貸出、活動周知支援、活動保険加入支援等

○住民参加型の生活支援ボランティア組織等設立支援

■支援団体：虎姫地区

■支援内容：事業説明および活動検討会議への参加等

○生活支援活動団体代表者交流会の実施

■日 時：令和3年2月2日（火）13:30～15:00

■内 容：「たくさんのチラシにまぎれない！手に取ってもらえるチラシの作り方のヒント」

■講 師：ながはま市民協働センター 桐畑 淳さん

■参加者：10名

【地域除雪支援事業】

高齢者世帯及びしょうがい者世帯等の要援護者世帯等の除雪活動に対して、活動保険の加入、除雪支援用の小型除雪機の貸出を実施することで要援護者宅の除排雪活動を支援し、地域の見守り支えあいの活動による雪対策の推進を図り要援護者の冬期生活環境向上を推進しました。

○取り組み自治会数：75自治会

○要援護者登録世帯数：1,985世帯

○除雪支援活動登録者数：1,481名

【中山間地支援事業】

人口減少や少子高齢化の影響が地域住民の生活や福祉活動に顕著に表れる中山間地域で、住民相互のたすけあい、支えあい活動や住民の憩いのための居場所づくり、生きがいを持って日々の生活を送り健康で健やかな暮らしを応援するための支援活動を行いました。

○地域カフェ「ほっこり茶屋」（コミュニティカフェ）

■開設日時：毎週木曜日 10:00～15:00（第5木曜、祝日、年末年始を除く）

■開設場所：余呉高齢者福祉センター

■開設日数：36日 ※4・5月はコロナウイルス感染予防のため中止

■利用者数：延べ169名

○生きがいづくり教室

■開催日時：第1・3木曜日 9:00～12:00（第5木曜、祝日、年末年始を除く）

■開催場所：余呉高齢者福祉センター

■開催教室：壁掛けづくり教室、歌声喫茶、カラオケ等

■開催日数：19日 ※4・5月はコロナウイルス感染予防のため中止

■参加者数：延べ97名

○高齢者生きがいづくり通所活動

■開設日時：第1・3月曜日 10:00～15:00

■開催内容：手芸などの小物作り、畑作業

■開催日数：15日 ※4・5月はコロナウイルス感染予防のため中止

■参加者数：延べ49名

【ひきこもり者等支援事業】

不登校者やひきこもり者等が他者と交流するための支援として、親の会や保健所等各関係機関と連携し、当事者の居場所づくりに取り組みました。また、定期的にランチ交流会を開催しひきこもり当事者の外出の促しを支援するとともに、家族同士の交流の場を設け、地域での孤立感の軽減とつながりづくりを推進しました。

また、“ひきこもり”に対する理解と地域でのあたたかい支援の輪を広げることを目的とした研修会を実施しました。

○「えんかふえ～ひきこもりの若者 不登校のこどもの居場所～」の開催

■開催日時：毎月第1、3木曜日 13:30～16:30

■延べ参加人数：当事者31名 保護者22名

○研修会・家族交流会の開催

■第1回

◆開催日：令和2年8月16日（日）13:00～15:00

◆内容：講演「不登校ってなに？vol.2～不登校の子どもたちの声～」

講師 コミュニティハウスひとのま運営者 宮田 隼さん

◆参加人数：28名

※共催 cotton～こっとな～

■第2回

◆開催日：令和3年2月27日（土）13:30～15:10

◆内容：講演「“生きづらいと感じてきた人とともに生きる”を考える」

講師 ReLife 谷 諒次さん

○親の会支援（会場手配、チラシ作成・配布支援、研修会開催支援等）

■支援団体数：2団体

【福祉バス運営事業】

市内で活動する福祉団体、ボランティア団体等が実施する様々な福祉事業（大会参加、研修事業、交流事業、ボランティア活動等）を支援するため、長浜市から委託を受け福祉バスを運行し、福祉団体活動の活性化、当事者団体による要援護者等の社会参加と交流を推進しました。

○貸出件数：10件（大型バス1件、中型バス3件、小型バス6件、リフト付きバス0件）

○利用者数：82名

【子ども食堂支援事業】

子ども食堂の活動をとおして子どもと地域のつながりづくりの推進と新たに活動を始める、活動の充実させるための機会づくりに取り組みました。

○子ども食堂の新規立上げ、活動継続支援

市内子ども食堂数：16団体

○県等が開催する研修会、交流会への参加支援

○活動者の情報交換、交流の場の実施

○子ども食堂団体代表者交流会の実施

■日 時：令和3年3月16日（火）10:00～11:30

■内 容：「地域の連携で子どもをはぐくむ」

湖北子ども食堂リエゾン代表 北居 理恵さん

■参加者：15名

○活動費の助成

■助成金申請団体：5団体 1団体30,000円

【生活支援コーディネーター設置】

高齢者に必要な生活支援等サービスの提供体制を構築するため、地域住民をはじめ生活支援等サービスを担う事業主体と連携しながら、多様な日常生活上の支援体制の充実、強化及び高齢者の社会参加などの支え合い活動を推進しました。

○第1層生活支援コーディネーター（市域）

業務内容	活動件数	コーディネーター 派遣延べ人数	参加者 活動者
長浜市高齢者保健福祉審議会規則（平成25年長浜市規則第74号）第6条第1項第2号に規定する長浜市支え合いの地域づくり推進委員会に構成員として参加する。	1件	2名	20名
小地域に配置するコーディネーターとの定期的な連絡会議及び情報交換を行う。 ※コーディネーター派遣延べ人数：市域全体生活支援コーディネーター-および小地域生活支援コーディネーターの数	24件	343名	9名
小地域協議体の代表者等による情報交換会及び情報紙の発行等、情報共有に向けた取組を行う。	4件	18名	27名
市域全体の高齢者の生活支援等サービスの開発に向けた既存団体等への働きかけおよび取組の支援を行う。 ※コーディネーター派遣延べ人数：市域全体生活支援コーディネーター-および小地域生活支援コーディネーターの数	14件	42名	147名
高齢者の生活支援に取り組む事業者や住民団体との情報交換及び連絡の場を設ける。 ※コーディネーター派遣延べ人数：市域全体生活支援コーディネーター-および小地域生活支援コーディネーターの数	8件	14名	70名
住民主体の高齢者の生活支援の担い手の養成研修及びスキルアップ研修を実施する。 （年1回、複数回で構成する養成講座を実施） ※コーディネーター派遣延べ人数：市域全体生活支援コーディネーター-および小地域生活支援コーディネーターの数	1件	6名	11名
先進地をはじめ、他の市町村の団体等の交流、または視察等による研修会を実施する。（年1回実施） ※コーディネーター派遣延べ人数：市域全体生活支援コーディネーター-および小地域生活支援コーディネーターの数	1件	6名	—
国、県、市等で開催する介護予防・日常生活支援総合事業および生活支援体制整備事業に関するセミナー、または研修会等に参加する。	7件	9名	—
市へ定期的な事業の進捗状況を報告する。	11件	15名	29名
地域づくり協議会に配置される地域活力プランナー等との連携を図る。 （市内の地域活力プランナーと生活支援コーディネーターの連携が図られるよう情報共有等を行う）	6件	7名	7名
その他	66件	98名	221名

○第2層生活支援コーディネーター（15 地区域）

業務内容	活動件数	コーディネーター 派遣延べ人数	参加者 活動者
地域で活動する住民団体（※）との意見交換会、情報提供を行い、小地域協議体活動としての働きかけを行う。 ※地区社会福祉協議会、地域づくり協議会、老人クラブ連合、自治会、サロンなど	2,945 件	3,208 名	10,592 名
担当する地域を管轄する地域包括支援センター圏域の地域ケア会議（自立支援会議）に参加する。	5 件	7 名	31 名
担当する地域を管轄する地域包括支援センター圏域の生活圏域ケア会議（個別ケア会議・生活圏域ケア会議）に必要な応じて参加する。	87 件	97 名	452 名
担当する地域を管轄する地域包括支援センターと情報提供等による連携を図り、地域で活動する住民団体等との連携に努める。	277 件	297 名	437 名
担当する地域の高齢者サロン等地域資源マップづくりへの支援を行う。	573 件	605 名	1,631 名
担当する地域の高齢者の生活支援等サービスの開発に向けた既存団体への働きかけおよび取り組みの支援を行う。	82 件	87 名	162 名
高齢者が担い手として活躍する場の確保に向けた取り組みを行う。（地域で活動する住民団体と連携し、高齢者が生きがいややりがいをもって活動できる場や機会の創出に取り組む。）	472 件	523 名	1,364 名
居宅介護支援事業所、生活支援等サービスの提供主体、介護サービス事業所等との連携を行う。 （居宅サービス提供主体との情報共有によるフォーマルサービスとインフォーマルサービスの活用を促進する）	22 件	22 名	31 名
国、県、市等で開催する介護予防・日常生活支援総合事業および生活支援体制整備事業に関するセミナーまたは研修会等に参加する。	35 件	105 名	—
地域づくり協議会に配置される地域活カプランナー等との連携を図る。（地区の状況にあわせ、地域づくり活動と地域福祉推進の連携を図る）	184 件	202 名	298 名
高齢者の活動支援を目的とした市等への補助申請等への手続の支援を行う。	210 件	210 名	267 名
その他	233 件	263 名	390 名

○サロン支援員

業務内容	活動件数	コーディネーター 派遣延べ人数 <small>※生活支援C○派遣人数</small>	参加者 活動者
自治会単位を基本とした住民主体の高齢者の通いの場（サロン等）の設立、運営支援を行うこと。	793 件	1,442 名	3,197 名
認知症研修やサロン等活動に有効な技術的研修等の受講による資質向上に努めること。	11 件	83 名	182 名
コーディネーターとの連携を図ること。 ※コーディネーター派遣延べ人数：市域全体生活支援コーディネーターおよび小地域生活支援コーディネーターの数	24 件	343 名	9 名
サロン等の支援活動を通じて、支援を必要とする人（要支援者）の把握及び当該要支援者を地域包括支援センターにつなぐなど連携した支援を行うこと。	1 件	1 名	20 名

【認知症サポーター等養成事業】

認知症キャラバンメイトが地域住民に向けて開催する認知症の啓発活動を支援することで、認知症は身近な病気であることを住民に広く周知・啓発し、地域の認知症の理解者を増やし、地域ぐるみで認知症を見守り体制づくりを推進しました。

○認知症サポーター等養成講座

- 地域・自治会等への開催：13回（受講者数：292名）
- 絵本教室（小学校・中学校）開催：小学校 22回（受講者数：612名）
中学校 15回（受講者数：662名）

○認知症キャラバンメイト活動支援

- 定例会開催支援：一般メイト：52回 専門職メイト 1回

■リーダー会開催

◆一般メイトリーダー会

日 時：令和2年6月30日（火）

場 所：湖北福祉ステーション 多機能室・機能回復室

参加者：キャラバンメイト16名 関係者14名

◆専門職メイトリーダー会

日 時：令和2年8月6日（木）

場 所：長浜まちづくりセンター

参加者：キャラバンメイト 3名 関係者 4名

○研修会開催

■第1回研修会

◆日 時：令和2年12月17日（木）

◆場 所：長浜まちづくりセンター 2階多目的ホール

◆内 容：①長浜市の認知症の現状と課題

②各地域での見守り活動について

③活動報告

高月第3町内「認知症みんなが安心見守り訓練」

④各グループの活動発表

ひなたグループ、しらさぎグループ、やまびこグループ

◆参加者：40名

■第2回研修会

◆日 時：令和3年3月22日（月）

◆場 所：湖北福祉ステーション 多機能室・機能回復室

◆内 容：講演「再確認！認知症サポーター養成講座の基本カリキュラム

—地域の方に認知症を理解してもらうための伝え方のポイント—

講師：長浜市立湖北病院 認知症看護認定看護師 馬場 直哉さん

【地域力強化推進事業（地域共生社会推進事業）】

地域住民などが主体的に地域生活課題を把握し、解決を試みることができる環境の整備、地域生活課題に関する相談を包括的に受け止める体制の整備を推進し、地域共生社会の実現に向けた地域力の強化に努めました。

また、少子高齢化や核家族化の進行、人口減少、地域のつながりの希薄化など、地域社会を取り巻く複合・複雑化した課題に対応するため、相談支援機関等の連携を強化し、包括的な支援体制を

構築するため、次の業務に取り組みました

○「暮らしの支えあい検討会」の開催：各地区で延べ49回開催

○研修会の実施

■「地域共生フォーラム2021」

◆日 時：令和3年3月27日（土）10:00～12:00

◆会 場：さざなみタウン 参加者：87名

◆内 容：講演「みんなで取り組む地域共生社会づくり」

◆講 師：山崎亮さん（studio-L 代表）

■地域共生社会推進に向けた関係者研修会

◆日 時：令和3年1月27日（水）13:30～15:00

◆会 場：長浜市多目的ルーム 参加者：87名

◆内 容：講演「地域共生社会の実現に向けた包括的な支援体制づくり」

◆講 師：永田祐さん（同志社大学）

○多機関協働による相談者等に対する支援の実施

■相談支援件数：40件

■個別支援連携会議：35件

■相談者が抱える複合的な課題の改善した件数：8件

■新たな社会資源の創出件数：4件

○相談支援包括化ネットワークの構築

■研修会を実施

◆地域共生社会の推進にむけた関係者研修会（主催）

日 時：令和3年1月27日（水）15:30～17:00

会 場：長浜市役所 多目的ホール 参加者：64名

内 容：講演「地域共生社会の実現に向けた包括的な支援体制づくり」

講師：永田祐さん（同志社大学）

◆地域共生社会の推進にむけた関係者研修会（共催）

日 時：令和3年2月26日（金）14:00～17:00

会 場：長浜市民交流センター 参加者：26名

テーマ：連続講座 アウトリーチ等に通じた継続的支援とそのアプローチについて

内 容：①長浜市におけるひきこもり支援体制について

講師：長浜市社会福祉課 富永主幹

②座談会「関係機関の業務内容を共有しよう」

③講義「アウトリーチの実際を勉」

講師：甲賀・湖南ひきこもり支援 奏 主任相談支援員 北出篤史さん

◆地域共生社会の推進にむけた関係者研修会（共催）

日 時：令和3年3月15日（月）13:00～16:00

会 場：さざなみタウン 参加者：29名

テーマ：連続講座 アウトリーチ等に通じた継続的支援とそのアプローチについて

内 容：グループワーク「チームアプローチについて考える」

講師：さわらび福祉会 総合施設長 山崎 秀樹さん

○相談支援連携会議の開催

■個別支援調整会議の開催：36回

○サポート調整会議及び相談支援包括化推進会議への参加及び協力

- 相談支援包括化推進会議への参画：1回
- 支援者支援会議の出席：10回
- 個別支援調整会議の実施：15回
- 市との連絡会議の実施：年間を通じて適時実施
- 自主財源の確保・新たな社会資源創出のための取組
 - 既存の社会資源について、既存の役割や事業内容を広げたところでの支援の可能性や意向についての聞き取り：19件
- 社会とのつながりを持ちにくい人たちの社会参加・就労に向けた場の創出：2件
- 就労支援プロジェクト研修会の実施：1回
 - 就労支援プロジェクト関係者研修会
 - ◆日 時：令和2年8月28日（金）10:00～12:30
 - ◆会 場：東近江圏域 障害者就業・生活支援センター 参加者：9名
 - ◆内 容：「東近江圏域 働き・暮らし応援センターTekito への訪問研修」
 - ◆講 師：東近江圏域 働き・暮らし応援センターTekito 所長 野々村 光子さん
- 雇用・就労に向けた研修会・交流会
 - 就労訓練事業所での就労訓練の実施に向けた受け入れ事業所職員研修
 - ◆日 時：令和2年10月1日（木）14:00～15:30
 - ◆会 場：長浜市役所湖北支所3階会議室
 - ◆テーマ：「働くということ」
 - ◆講 師：滋賀県社会就労事業振興センター 理事長 城 貴志さん
 - 雇用・就労に関する情報交換会
 - ◆日 時：令和2年12月11日（金）9:30～11:30
 - ◆会 場：長浜市役所 多目的ルーム 参加者：29名
 - ◆テーマ：雇用・就労に関わる事業内容について情報共有
 - ◆内 容：雇用・就労に関わる課題と多様な働き方をテーマにしたグループワーク
 - 雇用・就労に関する情報交換会
 - ◆日 時：令和3年3月23日（火）10:00～12:00
 - ◆会 場：長浜市役所 多目的ルーム 参加者：26名
 - ◆内 容：前回の振り返りと課題整理
市内における雇用・就労に関する取り組み事例について（3件）
他市における雇用・就労に関わる取り組みの先進事例について

(2) ボランティア支援

【ボランティアセンター事業】

ボランティア活動を支援し住民参画による地域福祉の推進を図りました。地域住民が幅広くボランティア活動に参加できるよう、活動に関する相談、情報・資料の提供、講座の開催やボランティア活動に対する啓発、また活動者が安心して活動ができるようボランティア活動保険の加入の推進に努めました。

- ボランティア登録団体数 223団体（R3.3.31 現在）
- ボランティアコーディネート件数
 - ボランティア相談件数 172件
 - ボランティア派遣回数 81件
- ボランティア団体の活動支援
 - ボランティア活動助成について

◆助成団体数：82団体（1団体上限40,000円）

◆助成金額：2,636,176円

○ボランティア講座の開催

講座名	主な内容	講座回数	延べ受講者数
子どもボランティアきっかけ講座	しょうがいについて正しく理解しともに生きることを考えてみよう	1回	10名
初級手話教室	手話の基礎研修 (土曜昼コース・金曜夜コース)	6回 (2会場)	79名
つながりひろがる講座	オンライン活用～入門編	2回	28名
活動者支援講座	読み聞かせボランティアを楽しむ講座	3回	50名
ボランティア講座	SNSやYouTubeの効果	2回	16名
防災ボランティア養成講座	災害時、地域の住民としてあなたのできることを考えてみませんか？	1回	28名

○情報紙の発行 ※【広報紙の発行】参照

○ボランティア登録の推進

■新規登録団体：1団体

○コロナ感染症・コロナと人権学習会講演

■DVDの作成：129団体配布

○ひとり親家庭対象布マスク進呈（裁縫ボランティア作成）

■配布期間：令和2年5月20日～26日

■配布件数：84件（223枚）

○ボランティア保険の加入促進と事務取扱

■ボランティア保険取扱数

◆ボランティア活動保険 2,495名

◆ボランティア行事用保険 111件

◆福祉従事者保険 15件

◆送迎サービス補償 1件

■事故対応取扱数

◆事故対応 7件

○ボランティアグループへの相談支援

■ボランティアグループ活動・運営等の相談

◆相談数：133件

○ボランティア連絡協議会への支援：7団体（地区）

■市内ボランティア連絡協議会活動費助成金

◆助成団体数：1団体

◆助成額：50,000円

■市内7つのボランティア連絡協議会会議

◆会議開催：24回

◆事業数：5回

■市内ボランティア連絡協議会代表者会の開催

◆会議開催：1回

【福祉教育支援事業】

市内の小学校・中学校・高等学校・養護学校等との連携を基盤として、福祉への理解と関心を深め、思いやりの心を育てるため、児童・生徒が身近にボランティア活動や福祉活動に取り組める福祉教育の推進に努めました。また地域、自治会や福祉施設等において、体験をとおした思いやりや助け合う意識力を高める取り組みも行いました。

○支援学校数

- 小中学校 20校
- 養護学校 1校
- その他（地域、自治会、施設等） 8団体

○学習プログラム支援

- 支援時間数：160時間
- 主な学習プログラム

◇インスタントシニア体験 ◇車いす体験 ◇手話について学ぶ
◇点字について学ぶ ◇要約筆記について学ぶ ◇アイマスク体験
◇しょうがい者等当事者からの体験談 ◇ボランティア学習 ◇災害 他

【災害ボランティアセンター体制整備事業】

災害ボランティアセンターの体制整備を図り万が一の災害時に対応して、円滑なセンターの設置および運営が実施できるよう準備するとともに、併せて市民啓発を行うことで地域住民の災害に対する関心を高めました。

○災害ボランティアセンターの啓発

- 長浜市総合防災訓練への参画
コロナウイルス感染予防のため中止
- 防災出前講座
 - ◆講座開催数：8回
 - ◆内 容：「災害ボランティアセンターの役割」「いざ飯」等
- 災害ボランティアセンター運営支援者養成講座
 - ◆日 時：令和2年11月7日（土）
 - ◆内 容：災害時、地域の住民としてあなたのできることを考えてみませんか？
 - ◆参加者数：16名

(3) 生活相談支援

【地域福祉権利擁護事業】

判断能力が不十分なため権利侵害を受けやすい認知症・知的しょうがい・精神しょうがいのある方等に対して、福祉サービスの利用手続きの支援をはじめ、日常的な金銭管理、書類等の保管などを行いました。福祉サービス・行政サービス等を適切に利用できるよう支援し、また不当な権利侵害等を未然に防ぐことに努め、地域で安心して生活が送れるように支援しました。

(援助内容)

- 福祉サービスの利用援助
- 日常的な金銭管理

○書類等預かりサービス

	認知症 高齢者	知的 しょうがい者	精神 しょうがい者	合 計
利用者数 (R3.3.31 現在)	103名	87名	55名	245名
新規利用者数	31名	9名	15名	55名
利用終了者数	27名	15名	3名	45名
相談援助回数	5,391回	5,074回	2,852回	13,317回

【成年後見事業】

判断能力が不十分で、契約などの法律行為等について自己の判断で適切に行うことが困難な方に対し、本人の判断能力に応じ、意思決定が最大限尊重されるよう本会が成年後見人等となり、財産管理・身上監護・その他必要な法律行為を行いました。

また、市の委託を受けて長浜市成年後見・権利擁護センターを運営し、成年後見制度や利用手続き支援、地域の中で権利擁護体制の基盤を作るための啓発講座等を実施しました。

○法人後見事業（財産管理・身上監護・その他、本人の権利擁護に必要な法律行為等）

■法人後見受任

	受任件数 (R3.3.31 現在)	備考
後見類型	10件	新規3件
保佐類型	6件	新規1件
補助類型	2件	

○成年後見サポートセンター事業

■広報・啓発事業

出前啓発活動	関係団体：5団体 受講者：126名		
啓発講座の開催	日時	内容等	受講者数
	R3.2.15 (月)	特殊詐欺・悪徳商法の今 基礎からわかる成年後見講座	16名
	R3.2.22 (月)	認知症について理解を深めよう 成年後見人の役割と業務	21名
	R3.3.1 (月)	任意後見制度と遺言	18名
啓発資料の作成	カレンダー・年齢早見表：2,000部		
意思決定支援研修	日時	内容等	受講者数
	R3.3.12 (金)	成年後見人の意思決定支援 医療現場での意思決定支援	34名
	R3.3.19 (金)	事例検討会	13名

■成年後見サポーター養成講座

成年後見及び地域福祉権利擁護事業の担い手を育成するサポーター養成講座を開催しました。

成年後見サポーター養成講座の開催	日時	内容等	受講者数
	R2.10.30 (金)	地域福祉権利擁護事業の概要と知的しょうがい者・精神しょうがいの理解及び相談援助の方法	10名
R2.11.5 (木)	成年後見制度概要及び必要性 生活支援事例	9名	
R2.11.12 (木)	認知症の理解及び相談援助の方法	8名	
R2.11.19 (木)	社会保障の理解と消費生活の理解	9名	
R2.11.26 (木)	成年後見事務の方法	7名	

■相談支援回数

事項(対象)		相談者							合計
		本人	親族	福祉	医療	司法	行政		
成年後見制度に関する相談	認知症高齢者	6回	17回	35回	12回	1回	11回	82回	
	知的しょうがい	0回	8回	21回	0回	7回	3回	39回	
	精神しょうがい	1回	1回	5回	1回	0回	1回	9回	
市長申立手続きに係る相談	認知症高齢者						15回	15回	
	知的しょうがい						3回	3回	
	精神しょうがい						0回	0回	
合計		7回	26回	61回	13回	8回	33回	148回	

■申し立て支援回数

事項(対象)		対象者			
		本人	親族	行政	合計
後見申立	認知症高齢者	6回	11回	6回	23回
	知的しょうがい	0回	2回	16回	18回
	精神しょうがい	0回	0回	0回	0回
保佐申立	認知症高齢者	0回	0回	2回	2回
	知的しょうがい	0回	0回	0回	0回
	精神しょうがい	0回	0回	0回	0回
補助申立	認知症高齢者	0回	0回	0回	0回
	知的しょうがい	0回	0回	0回	0回
	精神しょうがい	0回	0回	0回	0回
合計		6回	13回	24回	43回

■成年後見受任者支援 成年後見制度受任者情報交換会

開催日	開催内容	参加人数
R3.3.25(木)	本人の気持ちに寄り添った支援について事例報告と意見交換会	16名

■くらしの困りごとなんでも相談会（ワンストップ相談会）の開催

開催日	開催場所	相談人数
R3.3.19(金)	長浜市役所本庁舎	11組

■運営委員会の開催

第1回 令和2年 7月28日(火) 10:00~11:30

第2回 令和2年10月20日(火) 10:00~11:30

第3回 令和3年 2月25日(木) 14:00~15:30

【よろず相談事業】

広く住民の日常生活上の悩みや心配ごとの相談を受け、適切な情報の提供を行い、地域住民の福祉増進と、生活の安定を図れるように努めました。

○開設日時・場所

開設場所	開設日	開設時間
長浜市社会福祉センター (専用電話 63-4811)	毎週月・火・水・金曜日	午後1時~午後4時
	毎週木曜日	午前9時~正午
湖北福祉ステーション	毎月第4水曜日	午前9時~正午
木之本福祉ステーション	毎月第4木曜日	午前9時~正午

○相談実績

区 分	開設日数	相談件数
1. よろず相談	①一般相談	186日 141件
	②専門相談	54日 18件
2. 法律相談	24日	117件
合 計	264日	276件

○司法書士会による相続・遺言無料相談会の支援 中止

○よろず相談員研修会

開催日	内容	出席人数
R3.3.18(木)	消費生活相談室の役割と特殊詐欺・悪徳商法の今	21名

【生活福祉資金】

滋賀県社会福祉協議会からの受託事業として、低所得世帯、高齢者世帯、しょうがい者世帯を対象に、必要な資金の貸付及び生活相談を行うとともに、民生委員・児童委員の指導、援助を受けることで経済的自立および生活意欲の助長・促進ならびに在宅福祉や社会参加の促進を図り、安定した生活に向けての支援を実施しました。

○新規貸付件数(特例を含む) 5,038件

■総合支援資金・福祉資金・教育支援資金 36件

■特例貸付(緊急小口・総合支援資金) 5,002件

○年度末貸付件数 6,133件

■総合支援資金(離職者支援資金・復興支援資金) 420件

- 福祉資金・教育支援資金・緊急小口 705 件
- 臨時特例つなぎ資金 6件
- 特例貸付（緊急小口・総合支援資金）5,002 件

【たすけあい資金貸付事業】

緊急的に生活維持費が必要な世帯に対し、生活資金を貸付けることにより安定した生活が営めるよう支援を行いました。

- 新規貸付件数 29 件
- 新規貸付額 1,140,000 円
- 年度末貸付件数 95 件
- 年度末貸付額 2,609,600 円（令和3年3月31日現在）

【緊急食料給付事業】

低所得世帯等で緊急的に食料給付が必要な世帯に対し食料品を給付し、当該世帯の生活維持の支援を行いました。また、電気・ガスの供給停止等により給付する食料の調理が困難な場合には、調理器具を貸与しました。

- 緊急食料給付件数 120 世帯（実人数 201 名）
- 調理器具貸与件数 2 件
- ながはま思いつながるプロジェクト（事務局）

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、長浜市においても多くの方が経済的支援を必要とされています。特に非正規雇用や外国籍住民、一人親家庭、しょうがい当事者など潜在的なリスクを抱える世帯において顕著に現れました。このような状況において、地域で支えあい、助け合う関係（絆）づくりをより一層推進するため「ながはま思いつながるプロジェクト」と題し、関係機関・市民団体等と協働でフードドライブ活動を推進し、地域の中で孤立し支援を必要とする世帯の食料支援を展開しました。

■思いつながるプロジェクト実行委員会

開催日	内容	出席人数
R2.5.28（木）	目的と今後の進め方について	17 名
R2.6.18（木）	フードドライブ企画について	15 名
R2.8.12（水）	フードドライブ企画について	14 名
R2.12.11（金）	今後の取組みについて	12 名

■フードドライブ実施

開催日	会場	参加人数
R2.6.13（土）	さざなみタウン	47 世帯 128 名
R2.7.10（金）	えきまちテラス	76 名
R2.7.18（土）～ 19（日）	市内 10 会場	212 世帯

【しょうがい相談支援事業所「ふらっと」「ナノハナ」の運営】

しょうがい福祉等の総合相談窓口として、本人やご家族、関係者からの相談に応じ、必要な情報提供や助言、サービス利用計画の作成等の支援を行うとともに、福祉サービスや制度利用についての情報提供および利用支援を行いました。

福祉サービスを利用または利用見込みのしょうがい児(者)に対して計画相談支援に基づくサービス等の利用計画の立案を行い、適切なサービスを利用し安心して生活できるよう支援しました。ま

た、定期的にサービス利用状況のモニタリング及びアセスメントを行いサービス計画の適切な見直しを実施しました。

○個別相談援助業務

(ふらっと) サービス等利用計画作成契約者数

	対象者数	延べ件数
しょうがい福祉サービス等の利用援助	130名	3,723件
生活支援に関する計画作成	127名	156件
ケアプラン作成後のモニタリングの実施	127名	289件
サービス調整連絡会議の開催	71名	187件

(ナノハナ) サービス等利用計画作成契約者数

	対象者数	延べ件数
しょうがい福祉サービス等の利用援助	148名	2,094件
生活支援に関する計画作成	139名	142件
ケアプラン作成後のモニタリングの実施	139名	384件
サービス調整連絡会議の開催	139名	157件

○しょうがい福祉に関する調整業務等

■長浜米原しょうがい者自立支援協議会への参画と協働・連携体制の構築

- ◆全体会 年間2回
- ◆当事者サポーター推進分科会 年間9回
- ◆相談ワーカー部会 年間6回
- ◆権利擁護部会 年間9回
- ◆運営委員会 年間4回
- ◆その他研修会等への参加

■湖北地域相談支援事業所会議への参加と情報共有・連携体制の構築 年間1回

■職員定例会の開催と情報共有・連携体制の構築 年間9回

■基幹相談調整センター機能強化員会議 年間12回

■基幹相談調整センター運営委員会 年間3回

(4) 新型コロナウイルスの影響に対する地域福祉活動の推進 (再掲)

【地域の交流事業等へのマスク作成と配布活動】

新型コロナウイルスの影響によりマスクが枯渇する中、サロン活動や当事者同士の交流活動など、また、市内の母子・父子世帯に対し、地域住民によるマスク作成と配布活動が取り組まれ、活動者の募集や対象者の把握等の支援を行いました。

○サロン活動へのマスク作成キットの配布

- 125サロンへ配布 (2,512名分)

○母子・父子世帯へのマスク配布

- 配布世帯数 84世帯 (大人84枚、子ども139枚)



【ながはま思いつながるプロジェクト】

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、日ごろから困りごとを抱えている世帯や個人においては経済的支援の必要性が顕著に現れました。このような状況において、地域で支えあい、助け合う関係（絆）づくりをより一層推進し、支援につなげることを目的に「思いつながるプロジェクト」と題し、フードドライブ活動を推進し、地域の中で孤立し必要とする世帯の見守り支援・食料支援を実施しました。

○思いつながるプロジェクト（事務局支援）

■検討会議：4回

■フードドライブへの寄付受付

現金：1,507,207円 寄付物品：3,855点

○フードドライブ活動

■開催回数：3回（12会場）

■支援者数：657人 ※会場にて暮らしの相談会を実施 相談件数53件



【生活福祉資金（特例貸付）の貸付】

新型コロナウイルスの影響を受け、収入減少でお困りの世帯に対し「緊急小口資金」「総合支援資金」の貸付を行いました。

特に、飲食店を営む個人事業主や非正規雇用の方、外国人労働者等雇用の安定しにくい方で世帯収入が減少された方や失業された方に対して、生活費の貸付を行うことで当該世帯の生活の安定を支援しました。

○緊急小口資金：1,630件

○総合支援資金：3,372件（延長貸付、再貸付含）

※貸付実世帯：1,879世帯

2. 在宅介護サービス

介護事業の経営改善に向けた取り組みとして、適正な人員配置、経費の見直しを継続して行うとともに、昨年度からの取り組みを継続し、事業所ごとに特色を打ち出した運営を進めました。コロナ禍で積極的な営業活動は難しい状況にありましたが、10月からはアンケートの結果等から、特に要望の多かった事業所において、機能訓練や入浴など、それぞれ特化したサービスを受けることができる事業形態に変更し、利用者の満足度向上と新規利用の獲得に努めました。

新型コロナウイルス感染症対策としては、国・県・市等関係機関からの通知、情報提供等に基づき利用者はもちろん、職員、事業所全体の感染予防を行い、サービス提供が滞ることのないよう努めました。

業務改善の取り組みとしては、記録業務のICT化による事務作業の軽減や、事務作業のストレス軽減を図るとともに、事業所の統廃合や事業規模に合わせた営業日数、サービス提供時間の変更を行うことで、人員配置や変形労働制の見直し、時間外労働の削減などを行い、職員のワークライフバランスの実現に努めました。

【居宅介護支援事業】

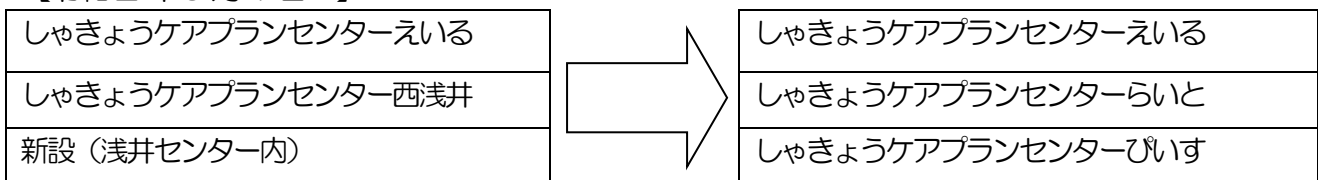
○居宅介護支援事業（介護保険事業） 介護予防支援事業（受託事業）

■専門性の高い職員による多様なニーズへの対応、職員スキルアップのための育成・指導・相談体制の機能強化を継続して行いました。その結果、しゃきょうケアプランセンターえいるにおいて特定事業所加算Ⅳを取得できる要件を満たすことができました。

■新型コロナウイルス感染症対策として継続したサービスの提供を視野に入れ、9月から事業所を3か所へ分散させました。また、名称をひらがな3文字に揃え、しゃきょうケアプランセンターとしての統一感を出しました。

■西浅井については、地域住民の皆様のご要望に応えケアマネ配置を2名増やし、旧伊香郡エリアのサービス提供強化を図りました。同時に、特定事業所加算算定Ⅱを取得しました。

【令和2年9月1日～】



【居宅介護支援事業実績】

区 分	事業所			合 計	前年度	前年比	
	えいる	らいと	ひいす				
常勤換算数(名)	7.5	38	5.2	16.5	16.3	101%	
利用者数	事業対象者(名)	9	0	7	16	32	50%
	要支援数(名)	448	235	182	865	1167	74.1%
	要介護数(名)	3,149	1,550	1,111	5,810	6,251	92.9%
	合 計(名)	3,606	1,785	1,300	6,691	7,450	89.8%
平均持ち件数(名) ※1	37.5	36.5	33.1	35.7	35.0	102%	

※1 平均持ち件数 = { (事業対象者 + 要支援数) ÷ 2 + 要介護数 } ÷ 常勤換算数 ÷ 12か月 (えいる・らいと)
÷ 7か月 (ひいす)

【デイサービス事業】

○通所介護事業（介護保険事業）

○総合事業通所介護事業（介護予防日常生活支援総合事業）

■しゃきょうデイサービス高月およびしゃきょうデイサービスはなれいろはにおいて共生型通所介護事業を実施し、しょうがい福祉サービスと介護保険サービスを組み合わせて利用することにより、地域共生社会の実現に向けた取り組みを行いました。

■特色のある事業運営として、10月からリハビリデイサービス北部は理学療法士が常駐し、名称を「神照リハビリデイサービス」と変更して機能訓練に特化したサービスを提供しました。しゃきょうデイサービスいろはにおいては、名称を「デイサービスいろはの湯」に変更し、信楽焼や檜の個人浴槽、マッサージチェアや足温浴器を設置して入浴とリラクゼーションに特化したサービスを提供しました。

■全てのリハビリデイサービスにおいて、利用者自ら自主的にリハビリを実施できるよう、フロアにリハビリ器具を配置し、要支援の方から重度の方まで、無理なく使用して頂くことで、身体機能の維持向上に取り組みました。

■コロナ禍のため全体研修は実施できませんでしたが、理学療法士・看護師・歯科衛生士など専門的な知識を有する専門職と介護職との協働により事業所ごとに介護技術の研修や事例検討を行い、より質の高いサービスに繋げることができました。

(デイサービス事業実績)

区 分	開所日数 (前年比)	延利用者数(名)		前年度 (名)	前年比	定員 開所日
		介護サービス	介護予防サービス			
リハビリデイサービス 東部	310 (+1)	介護サービス	6,047	4,658	129.8%	35名 週6日
		介護予防サービス	607	549	110.5%	
		計	6,654	5,207	127.8%	
神照リハビリデイサービス	285 (-24)	介護サービス	4,723	4,132	114.3%	35名 週5日
		介護予防サービス	1,021	931	109.7%	
		計	5,744	5,063	113.5%	
リハビリデイサービス 浅井	310 (+1)	介護サービス	6,568	5,039	130.3%	35名 週6日
		介護予防サービス	318	372	85.5%	
		計	6,886	5,411	127.3%	
デイサービスいろはの湯 (虎姫)	259 (+1)	介護サービス	3,065	3,091	99.2%	30名 週5日
		介護予防サービス	483	367	131.6%	
		計	3,548	3,458	102.6%	
しゃきょうデイサービス はなれいろは(びわ)	257 (-2)	介護サービス	1,636	2,341	69.9%	18名 週5日
		介護予防サービス	230	308	74.7%	
		障がいサービス	122	-	-	
		計	1,988	2,649	75.0%	
リハビリデイサービス 湖北	310 (+1)	介護サービス	5,914	5,297	111.7%	35名 週6日
		介護予防サービス	502	562	89.3%	
		計	6,416	5,859	109.5%	
しゃきょうデイサービス 高月	310 (+1)	介護サービス	5,301	5,585	95.0%	35名 週6日
		介護予防サービス	590	565	104.4%	
		障がいサービス	254	13	-	
		計	6,145	6,163	99.7%	
リハビリデイサービス 伊香の里アネックス (木之本)	310 (+1)	介護サービス	5,025	4,753	105.7%	35名 週6日
		介護予防サービス	870	836	104.0%	
		計	5,895	5,589	105.5%	
リハビリデイサービス 西浅井	310 (+1)	介護サービス	8,955	7,037	127.2%	40名 週6日
		介護予防サービス	1,054	1,270	83.0%	
		計	10,009	8,307	120.4%	
しゃきょうデイサービス 伊香の里	310 (+1)	介護サービス	6,351	7,386	86.0%	40名 週6日
		介護予防サービス	1,558	1,363	114.3%	
		計	7,909	8,749	90.4%	
合 計	-	介護サービス	53,585	49,319	108.6%	-
		介護予防サービス	7,233	7,123	101.5%	
		障がいサービス	376	13	-	
		計	61,194	56,455	108.4%	

○活動支援型通所サービス事業（介護予防日常生活支援総合事業）

■一人ひとりの生きがいや自己実現のために、活動的で生きがいのある生活や人生を送ることができるよう自立に向けた活動を提供しました。

（活動支援型通所サービス事業実績）

区分	定員（名）	開所日数（日）	延利用者数（名）
しゃきょうミニデイ北部	13	50	303
しゃきょうミニデイ高月	13	47	394
合計	-	-	697

○小規模多機能型居宅介護事業（介護保険事業[地域密着型サービス]

○介護予防小規模多機能型居宅介護事業（介護保険事業[地域密着型サービス]

■デイサービス・ホームヘルプ・ショートステイの複合型サービスを、利用者のニーズに合わせて提供し、住み慣れた自宅での生活が継続できるよう支援しました。

（ひなたぼっこ実績） 登録者定員 20 名・通所介護定員 10 名

区分	実績（名）	前年度（名）	前年比	
登録者平均数	17.2	17.3	99.4%	
延利用者数	3,455	3,726	92.7%	
利用サービス	訪問延利用者数	344	477	72.1%
	通所延利用者数	2,744	2,998	91.5%
	宿泊延利用者数	367	251	146.2%

※小規模多機能型居宅介護：要介護や要支援状態となっても可能な限り住み慣れた自宅や地域での生活が維持できることを目的としたデイ・ヘルプ・ショートを一体化させ、同じ施設でサービスを提供します。利用者とスタッフがなじみの関係が築けるよう区域を限定した小規模な施設となります。

【ホームヘルプサービス事業】

○訪問介護事業（介護保険事業）

○総合事業訪問介護事業（介護予防日常生活支援総合事業）

○居宅介護事業・重度訪問介護事業・同行援護事業（障害者総合支援事業）

■日常生活が困難な要支援要介護状態の方、しょうがいがある方へホームヘルパーを派遣し、食事・入浴・排泄などの身体介護や、家事・掃除などの家事援助のホームヘルプサービスを提供することにより、その方自身の能力に応じた自立した日常生活を営むことができるよう努めました。

○しょうがい者等移動支援事業（長浜市受託事業）

■しょうがいがある方の自立生活と社会参加の促進を図るための外出に対してホームヘルパーを派遣し、移動支援のサービスを行いました。

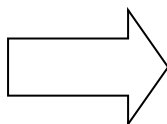
○特定旅客自動車運送事業（道路運送法第43条）

■高月・木之本・余呉・西浅井の地域に居住し、身体的理由により公共交通機関が利用できない介護認定者およびしょうがいのある方に伊香の里を拠点とした通院のための運送を行いました。（令和2年6月30日付にて廃止）

■5月より、人員不足を補い安定したサービス提供をめざして、しゃきょうヘルパーステーション西浅井は、しゃきょうヘルパーステーション伊香の里と統合されました。

令和2年5月から（4事業所）

しゃきょうヘルパーステーションりあん
しゃきょうヘルパーステーションこくあ
しゃきょうヘルパーステーションらいむ
しゃきょうヘルパーステーション伊香の里
しゃきょうヘルパーステーション西浅井



しゃきょうヘルパーステーションりあん
しゃきょうヘルパーステーションこくあ
しゃきょうヘルパーステーションらいむ
しゃきょうヘルパーステーション伊香の里

（ホームヘルプサービス事業実績）

（延利用者数〔単位：名〕）

区 分	りあん	こくあ	らいむ	伊香の里	西浅井	合計	前年度 合 計	前年比
訪問介護事業 （介護保険事業）	6,476	7,374	10,607	11,114	345	35,916	33,889	105.9%
身体介護	2,800	4,276	4,994	6,781	284	19,135	17,976	106.4%
身体・生活	1,792	1,188	645	2,301	26	5,952	5,338	111.5%
生活援助	1,837	2,631	2,658	2,006	31	9,163	10,575	86.6%
総合事業訪問介護事業 （介護予防日常生活支援総合事業）	944	414	773	2,302	25	4,458	4,902	90.9%
居宅介護事業 （障害者総合支援事業）	2,357	3,454	3,311	2,302	30	11,454	12,087	94.7%
身体介護	1,802	2,202	1,956	1,507	16	7,483	8,055	92.8%
家事援助	530	1,230	1,324	765	14	3,863	3,829	100.8%
通院介助	25	22	48	30	0	125	203	61.5%
重度訪問介護事業 （障害者総合支援事業）	102	227	0	0	0	329	456	72.1%
同行援護事業 （障害者総合支援事業）	0	3	68	29	3	103	310	33.2%
しょうがい者移動支援事業 （市受託事業）	0	0	53	6	0	59	2	2950%
養育支援訪問事業 （市受託事業）	28	20	0	0	0	48	2	2400%
特定旅客自動車運送事業 （道路運送法第43条による）	—	—	—	5	—	5	1,512	0.3%
合計	9,907	11,492	12,607	15,758	403	50,167	53,160	94.3%

※しゃきょうヘルパーステーション西浅井は令和2年4月実績のみ記載

【訪問入浴事業】

○しょうがい者訪問入浴サービス事業（長浜市受託事業）

■ご自宅での入浴が困難な方に対して、専門スタッフがご自宅を訪問し、その方の心身の特性を踏まえ、移動式浴槽を使って安全・快適な入浴サービスの提供に努めました。

■長年、受託してきた事業ですが、人員不足・他法人のサービス供給・資源が十分にあり、令和2年度にて事業は廃止いたしました。

（訪問入浴実績）

	延べ利用者（名）	前年度 延べ利用者（名）	前年比（％）
しょうがい者訪問入浴サービス事業 （長浜市委託事業）	589	566	104%

【介護実習生受入】

○各サービスにおいて介護を目指す生徒・学生・社会人を実習生として受入れ、介護への理解と将来の実践者教育としての指導を行いました。

介護実習依頼元	受入事業	受入人数	期 間
びわこ学院大学短期大学部	訪問介護	2名	8月17日～8月21日
京都橘大学	通所介護	1名	8月24日～8月28日
滋賀県社会福祉協議会	居宅介護支援	1名	2月10, 15, 16日
滋賀県社会福祉協議会	居宅介護支援	1名	2月16, 17, 19日

【こほく健康づくり広場】

長浜市内の高齢者を対象に、トレーニングマシーンによる運動の場所を提供し、健康作りや健康増進、介護予防を実施するとともに、高齢者の活動や社会参加などを促すことで、閉じこもりや加齢により身体機能・能力の低下を防止する目的に実施しました。

○開催場所 湖北センター

○開催実績

開催月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
開催日数	-	-	22日	21日	20日	19日
利用者数	-	-	222名	213名	169名	202名
開催月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開催日数	22日	19日	20日	19日	18日	23日
利用者数	243名	266名	256名	263名	307名	301名

※4、5月は新型コロナウイルス感染症予防のため、開催を休止しました。

3. 施設介護サービス

自宅を離れ施設に入所されても、住み慣れた地域で最後まで地域社会の一員として生きいきと自分らしい生活が送れるよう、利用者一人ひとりの尊厳を守り、その方が望む生活を営むための適切で質の高いサービスを提供できるように努めました。また、コロナ禍で終息が見えず様々な制限がある中でも、利用者家族との関係や現在のサービスの質を低下させないための取り組みを継続して行いました。

委員会活動や研修会はリモートで実施し、職員の資質と意欲の更なる向上を図り、利用者の生活改善に取り組みました。

設備面では、見守り機器の全床導入を行い、より安全な介護の実施と介護負担の軽減を図りました。

感染予防に関しては、次亜塩素酸水での手洗いの実施、入館前の検温、マスクの着用、入館制限（必要業者のみ入館許可書記入）、面会はリモートでの実施など、感染予防の徹底を図りました。

また、感染対策の観点から例年実施しておりました小学生との福祉交流学習受入や、多くのボランティア団体等のご協力による除草作業、車いす磨き、窓ふきなどの行事については、やむなく中止といたしました。

【特別養護老人ホーム入所事業実績】

○稼働率（％）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	前年度平均
稼働率(%)	93.87	97.03	95.13	95.03	94.90	87.07	94.00	98.67	97.87	95.10	95.57	95.87	95.02	94.20

○介護度別入所者数（月末在籍者数） 単位：名

介護度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	前年度平均
要介護1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0.1	0
要介護3	16	16	15	14	15	15	15	15	15	15	14	15	15.0	14.4
要介護4	20	19	21	21	21	20	21	21	21	23	22	20	20.8	23.0
要介護5	14	15	14	13	11	12	14	14	12	11	12	13	12.9	11.9
合計	50	50	50	48	47	47	50	50	48	49	49	48	48.8	49.3
退所者数	1	1	2	1	3	3	1	0	3	1	0	2	1.5	0.8
入所者数	2	1	2	0	2	3	4	0	1	2	0	1	1.5	0.8
入院者数	8	3	5	4	1	5	3	2	3	2	5	4	3.8	5.6

【短期入所生活介護事業・介護予防短期入所生活介護事業実績】

○稼働率（％）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	前年度平均
稼働率(%)	87.33	84.03	84.67	84.68	85.48	86.83	91.13	90.83	82.42	87.74	91.79	83.23	86.63	89.28

○介護度別利用者数（上段：延べ人数 下段：実人員） 単位：名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	前年度平均
要介護1	89	68	84	95	100	110	101	108	95	125	80	88	95	87
	15	15	15	15	18	18	16	16	15	15	12	13	15	13
要介護2	143	134	109	88	121	127	115	119	115	112	136	157	123	131
	19	15	16	12	13	16	15	14	15	16	15	15	15	17
要介護3	170	142	150	185	156	137	191	179	148	143	127	128	155	149
	20	15	21	27	22	17	21	19	19	16	16	14	19	20
要介護4	97	140	106	101	97	101	96	88	101	116	123	92	105	130
	9	13	12	12	9	11	12	11	11	12	14	8	11	13
要介護5	25	37	48	56	56	44	60	51	52	48	48	51	48	50
	4	4	5	6	6	5	8	7	6	5	5	6	6	5
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	0	0	11	0	0	2	2	0	0	0	0	0	1	0
	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0
合計	524	521	508	525	530	521	565	545	511	544	514	516	527	548
	67	62	70	72	68	68	73	67	66	64	62	56	66.3	68.3

【施設実習受入実績】

北星高校介護福祉類型2年生	3名	11月4日～11月16日（10日間）
北星高校介護福祉類型2年生	3名	8月18日～8月31日（10日間）
外国人介護職員初任者研修	2名	1月18日

【委員会活動実績】

委員会名	実施日・内容
衛生委員会	毎月第3水曜日（主任者会議内） 職員の健康障害の防止や健康の保持増進に関して労働環境の改善や労働災害防止の取り組みについての審議・決定
事故防止委員会・身体拘束廃止委員会	毎月第3水曜日（サービス向上委員会内） ヒヤリハットや事故の検討を行い組織的に事故の再発防止や未然に防ぐ取り組みの決定 身体拘束に関する検討、分析、承認
入所検討委員会	毎月第3水曜日（サービス向上委員会内） 入所待機者をガイドラインに則り、入所順位の決定
給食・口腔ケア委員会	毎月第2水曜日 利用者の栄養状態の向上と食事を楽しむ工夫について検討。併せて歯科医師、歯科衛生士の指導のもと口腔ケア計画の策定と安全かつ効果的な口腔ケアの実施のための協議や勉強会の実施
感染対策・褥瘡予防対策委員会	毎月第1金曜日 施設における感染対策防止マニュアルの作成とマニュアル遵守のための研修会の実施。消毒機器の導入等による環境整備と業務改善。利用者の褥瘡予防のための対策の検討および勉強会の実施
ケア委員会	毎月第2月曜日 技術向上、ロボットの活用（タブレット、眠りスキャン、移乗リフト）接遇全般を検討。利用者の安全、安楽な生活を目的に、統一した対応による快適な介助方法を実施。ロボット活用を主導的にを行い介護負担の軽減を検討。また業務の見直しやよりよい介助方法を身に付けるための勉強会の実施
排泄委員会	毎月第2木曜日 利用者一人ひとりにあった排泄ケアの実現に向けて排泄パターンの分析を行い、個々の介助方法を見直すとともにオムツの見直しや介助技術の向上を図る研修会を実施
コロナ対策委員会	毎月第1水曜日 コロナ感染状況の把握やクラスター感染発生時の対応方法など検討。めまじるしく変わるコロナ情報に都度対策を検討する

【軽費老人ホーム ケアハウス伊香】

○定員 15 名（個室9 部屋、2 人部屋 3 部屋）

自炊ができない程度の身体機能の低下があり、独立して生活するには不安がある方で、家族等による援助を受けることが困難な方が入居し、食事や入浴等、日常生活上必要な便宜を提供するとともに、感染予防に努めながら、毎月、買い物やレクリエーションの機会等を持ち、地域の中

で可能な限り自立した生活を営んでいけるように支援しました。

利用者の平均年齢は84.5歳で、68歳から97歳の男性1名、女性11名の計12名が入所されています。入所者の高齢化が進み、介護サービスを利用される方が多くなってきました。他部門と連携をはかりながら、ケアハウスで安心した生活が続けられるように支援しました。

なお、2人部屋への入居希望者がなく、現在は3部屋とも単身での入居となっており、そのため12名で満室となっております。

○実績(月末在籍者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	稼働率
入居者数(名)	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	80.0%

要介護度別利用者数(年度末人数)

	自立	事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
入居者数(名)	4	0	2	1	2	2	0	1	0	12

4. 施設管理等

【高齢者福祉センター事業】（東部・北部・高月・木之本）

○外出支援事業（東部・北部）

高齢者等の閉じこもり予防を目的として、地域住民の利用促進を図るため車両の運行で福祉ステーションをより身近な憩いの場所として活用するとともに、買い物支援等を実施することで要援護者等の生活向上を目指しました。また健康増進を図るため、こころやからだの病気、生活習慣改善等についての健康相談を行いました。

	実施回数	参加者数（延べ）
東部高齢者福祉センター	9回	71名
北部高齢者福祉センター	9回	117名

○生きがいづくり講座（東部・北部）

	内容	実施回数	参加者数（延べ）
東部高齢者福祉センター	楽しいハンドメイド講座	3回	33名
北部高齢者福祉センター	楽しいハンドメイド講座	3回	38名

○生きがいづくり講座の開催とサークル活動支援（高月・木之本）

高齢者等の生きがいづくりを促進するため、各種趣味活動への導入講座を開催し、高齢者の活動的で豊かな余暇活動を応援しました。また、講座参加者が中心となるサークル活動を支援することで地域のつながりを深めました。

	内容	実施回数	参加者数（延べ）
高月高齢者福祉センター	ヨガ教室	13回	180名
	シルバー体操	13回	140名
	フラワーアレンジメント教室	8回	95名
	ほのぼのカラオケ教室	コロナ感染予防対策のため中止	
	囲碁・将棋教室		
男の料理教室			
木之本高齢者福祉センター	折り紙 あじさい	18回	111名
	子育てサークル	5回	147名
	絵画教室	18回	112名
	老ク連 卓球クラブ	20回	118名

○福祉講演会の開催（東部・北部・木之本）

地域住民を対象に福祉課題に対する研修や講演会を開催し、地域住民への福祉意識の啓発と福祉の担い手の発掘・育成を図りました。また地区社会福祉協議会（福祉の会）やまちづくりセンター事業と連携して開催することで、地域・施設間の連携の強化に努めました。

	内 容	参加者数（延べ）
東部高齢者福祉センター	コロナ感染予防対策のため中止	0名
北部高齢者福祉センター	夢の種まき～大野実先生	88名

○高齢者福祉センター利用状況

地域の福祉事業の拠点として運営を行い各地域福祉事業の展開、地域住民・福祉団体活動に活用いただきました。

■東部高齢者福祉センター

	件数	利用者数
保健事業	1件	51名
研修・視察・学習会	0件	0名
交流会	8件	188名
会議	0件	0名
講演会	0件	0名
施設貸出	50件	427名
外出支援	9件	71名
施設管理ボランティア	2件	47名
電子浴サービス	0件	0名
その他	2件	47名
合計	72件	831名

■高月高齢者福祉センター

	件数	利用者数
自主事業	34件	415名
団体利用	647件	4,176名
合計	681件	4,591名

■湖北福祉ステーション

	件数	利用者数
自主事業	442件	4,622名
団体利用	95件	1,406名
合計	537件	6,082名

■北部高齢者福祉センター

	件数	利用者数
保健事業	1件	54名
研修・視察・学習会	16件	61名
交流会	44件	315名
会議	126件	747名
講演会	0件	0名
施設貸出	3件	186名
外出支援	9件	117名
施設管理ボランティア	0件	0名
電子浴サービス	4件	8名
その他	3件	38名
合計	206件	1,526名

■木之本高齢者福祉センター

	件数	利用者数
自主事業	42件	1,631名
団体利用	102件	773名
合計	144件	2,404名

【地域福祉センター指定管理】（センター利用件数）

長浜市地域福祉計画及び長浜市地域福祉活動計画の『地域の絆で ともに育み支えあい安心して暮らせるまち 長浜』を基本理念とした本市の地域福祉活動支援拠点の中核施設として運営を行いました。

○地域福祉センター利用状況

月	件数	利用者数
合計	5,312件	7,935名

5. 公益事業

【介護職員初任者研修】

在宅サービス事業を幅広く実施し多数の有資格者を有する本会では、そのノウハウを活かし、介護の現場で必要となる基礎的な知識と技術を身につけることができる「介護職員初任者研修」(旧2級ヘルパー養成講座)を実施し、人材の育成・確保に努めました。

また、開催にあたって、本会職員が講師を務めることで、職員のスキルアップを図ることができ、本会サービスの資質向上につながられました。

- 開催期間 令和2年7月21日～令和2年11月6日の全23日間（施設実習1日含む）
- 開催場所 湖北センター
- 受講者 18名

【外国人介護職員初任者研修】(滋賀县委託事業)

高齢化の進展と人口減少社会の中で多様なルートからの人材確保が必要になっていることから、良質な介護サービスが安定して提供されること、ならびに外国人の方々の雇用の促進を目的として、県内在住の外国人を対象とした「介護職員初任者研修」(旧2級ヘルパー養成講座)を実施しました。

また、開催にあたっては、本会のみならず湖北地域介護サービス事業者協議会等と連携をとり、新たな人材確保に努め、修了者のうち7名を介護事業所への就労につながられました。

- 開催期間 令和2年9月20日～令和3年2月13日の全23日間（施設実習1日含む）
- 開催場所 湖北センター
- 受講者 11名

【地域包括支援センター事業】

長浜北部福祉ステーション（神照）、生きがいセンター（虎姫）、高月福祉ステーション（高月）の3カ所で市の委託により地域包括支援センターを運営しました。

地域包括支援センターでは、総合相談支援、介護予防ケアマネジメント業務等を提供することで、身近で専門的な高齢者相談窓口として運営を行なうとともに、生活支援コーディネーター等との連携のもと、地域における住民主体の福祉活動等の把握、住民及び専門職ネットワークの構築に努め、地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みを推進しました。

○設置運営場所

- 神照郷里地域包括支援センター 長浜市神照町288-1 長浜北部福祉ステーション内
- 浅井びわ湖虎姫地域包括支援センター 長浜市宮部町3445 生きがいセンター内
- 湖北高月地域包括支援センター 長浜市高月町西物部73-1 高月福祉ステーション内

○事業実績

■総合相談支援事業

相談形態	神照郷里	浅井びわ湖虎姫	湖北高月	合計
電話	2,834件	1,523件	866件	5,223件
来所	320件	303件	218件	841件
訪問	670件	500件	458件	1,628件
会議	140件	68件	85件	293件
その他	69件	25件	17件	111件
合計	4,033件	2,419件	1,644件	8,096件

■虐待対応

	神照郷里	浅井びわ虎姫	湖北高月	合 計
対応件数	20件	10件	22件	52件

■介護予防支援、介護予防ケアマネジメント

	介護予防支援			介護予防ケアマネジメント			合計		
	直営	委託	計	直営	委託	計	直営	委託	計
神照郷里	892件	863件	1,755件	673件	521件	1,194件	1,565件	1,384件	2,949件
浅井びわ虎姫	872件	789件	1,661件	375件	199件	574件	1,247件	988件	2,235件
湖北高月	412件	841件	1,253件	351件	428件	779件	763件	1,269件	2,032件
合計	2,176件	2,493件	4,669件	1,399件	1,148件	2,547件	3,575件	3,641件	7,216件

■包括的・継続的ケアマネジメント業務

会議名	神照郷里	浅井びわ虎姫	湖北高月	合 計
地域ケア会議	142回	82回	112回	336回
虐待対応会議	51回	36回	59回	146回
認知症施策推進	28回	58回	46回	132回
多機関連携会議	65回	73回	62回	200回
合 計	286回	249回	279回	814回

■研修・地域ネットワーク活動

内容	神照郷里	浅井びわ虎姫	湖北高月	合 計
研修参加	29回	15回	11回	55回
地域ネットワーク活動	28回	38回	33回	99回

6. その他事業

【生活困窮者就労訓練事業】

自立相談支援機関（生活困窮者自立支援法に基づき自治体やその委託事業者が運営）のあっせんに応じて、就労に困難を抱える生活困窮者を受入れ、その状況に応じた就労の機会を提供するとともに、生活面や健康面での支援を行う事業です。

○受け入れ 1名 令和2年10月13日から 週2回

○訓練内容 事務補助、環境整備等

【善意銀行】

○金銭口座 116件 4,894,389円

○物品口座 72件

食料品	22件	・お米等 ※フードドライブ寄付含まず
介護用品等	13件	・車椅子・フェースシールド・オムツ類等
日常生活用品	27件	・マスク・タオル・衣類等
その他	10件	・掃除機・洗濯機・冷蔵庫・電子レンジ等

【日本赤十字社長浜市地区】

日本赤十字社の活動資金募集、災害時における救援援助活動、赤十字奉仕団活動の支援等を実施しました。

区 分	金 額 (円)
会費・寄附金	8,045,685
法人活動資金	0
合 計	8,045,685

【長浜市共同募金委員会】

赤い羽根共同募金（一般募金）および歳末たすけあい募金を推進するために、事務局を設置し円滑な募金活動に取り組みました。

○赤い羽根共同募金（一般募金）運動の推進

区 分	募 金 額 (円)
戸別募金	6,071,151
街頭募金	0
法人募金	138,300
学校募金	165,466
職域募金	292,655
その他の募金	266,359
合 計	6,933,931

○歳末たすけあい運動の推進

	募 金 額 (円)
歳末たすけあい募金	4,805,119

7. 法人運営等

【理事会開催】

○令和2年6月26日（金） ※書面決議

- 令和元年度 社会福祉法人 長浜市社会福祉協議会 事業報告について
- 令和元年度 社会福祉法人 長浜市社会福祉協議会 一般会計収支決算について
- 令和元年度 長浜市共同募金委員会会計収支決算について
- 評議員選任候補者の推薦について
- 社会福祉法人長浜市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会の決議の省略について
- 社会福祉法人長浜市社会福祉協議会評議員会の決議の省略について

○令和3年1月12日（火） ※書面決議

- 施設の長他の重要な職員の解任及び選任について
- 評議員会への理事の解任及び選任の提案について
- 令和2年度 社会福祉法人 長浜市社会福祉協議会 半期一般会計収支決算について
- 令和2年度 社会福祉法人 長浜市社会福祉協議会 一般会計第1号補正予算（案）について
- 社会福祉法人長浜市社会福祉協議会評議員会の決議の省略について

○令和3年3月17日（水） ※書面決議

- 令和3年度 社会福祉法人 長浜市社会福祉協議会 事業計画（案）について
- 令和3年度 社会福祉法人 長浜市社会福祉協議会 一般会計予算（案）について
- 令和3年度 長浜市共同募金委員会予算（案）について
- 社会福祉法人長浜市社会福祉協議会 評議員会の決議の省略について

【評議員会開催】

○令和2年7月10日（金）（定時）※書面決議

- 令和元年度 社会福祉法人 長浜市社会福祉協議会 事業報告について
- 令和元年度 社会福祉法人 長浜市社会福祉協議会 一般会計収支決算について
- 令和元年度 長浜市共同募金委員会会計収支決算について
- 社会福祉法人 長浜市社会福祉協議会 理事の選任について

○令和3年1月20日（水） ※書面決議

- 理事の解任及び選任について
- 令和2年度 社会福祉法人 長浜市社会福祉協議会 半期一般会計収支決算について
- 令和2年度 社会福祉法人 長浜市社会福祉協議会 一般会計第1号補正予算（案）について

○令和3年3月25日（木） ※書面決議

- 令和3年度 社会福祉法人 長浜市社会福祉協議会 事業計画（案）について
- 令和3年度 社会福祉法人 長浜市社会福祉協議会 一般会計予算（案）について
- 令和2年度 長浜市共同募金委員会予算（案）について

【監事会開催】

○令和2年6月16日（火）

- 令和元年度 社会福祉法人 長浜市社会福祉協議会 事業報告について
- 令和元年度 社会福祉法人 長浜市社会福祉協議会 一般会計収支決算について
- 令和元年度 長浜市共同募金委員会 会計収支決算について

○令和2年12月24日(木)

■令和2年度(前期分)社会福祉法人 長浜市社会福祉協議会 事業報告について

■令和2年度(前期分)社会福祉法人 長浜市社会福祉協議会 一般会計収支決算
について

【正副会長会開催】

○令和2年6月17日(水)

■理事会、評議員会議案について

○令和2年12月24日(木)

■理事会、評議員会議案について

○令和3年3月10日(水)

■理事会、評議員会議案について

■役員等の体制見直しについて

【評議員選任・解任委員会】

○令和2年7月2日(木)

■評議員選任・解任について ※書面決議

【会費実績】

○一般会費：416自治会他 11,998,122円

○特別会費：19件 86,000円

注記 事業報告の附属明細書については事業報告と一体的に作成しています。